

哲学研究科

1. 哲学研究科の教育研究上の目的及び人材養成の目的

古代から中世を経て現代へ至る西洋哲学の伝統を研究する。また芸術・文化・宗教のあり方を根本から考え、現代社会が直面する多様な倫理的問題に対して、原理的な仕方掘り下げる。

後期課程は主として専門研究者の育成を目標とする。

2. 各専攻のディプロマ・ポリシー

哲学専攻

【博士後期課程】

本課程では、以下の要件を満たしたうえで、博士論文が正式に受理され、審査に合格した学生に博士（哲学）の学位を授与します。

1. 本課程において、研究指導教員に1年間以上にわたり研究指導を受けたのちに研究企画書を研究科委員会に提出し、博士論文提出に関してあらかじめ研究科委員会の承認を得ていること。
2. 研究発表：上智大学哲学会での研究発表・全国規模の専門学会での複数の研究発表。
3. 刊行論文：3点以上の刊行論文。

3. 各専攻のカリキュラム・ポリシー

哲学専攻

【博士後期課程】

本課程では、高度な専門的研究者の養成、すなわち、大学や短大などでの哲学教育の担当者のみならず、国際的な場においても活躍できるような哲学研究者の養成をめざします。

1. 修了に要する科目，単位数，科目数などの要件

【15年次生】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限，その他）
総単位数	20		
授業科目			
▶必修科目	4		
└哲学特殊研究A	2		
└哲学特殊研究B	2		
▶選択科目	16		
研究指導（必修）			単位なし，在学中毎学期登録される
博士論文			必要な研究指導を受けた上，博士論文の審査および試験に合格すること

【研究指導スケジュール】

指導教員の決定：4月末まで（D1）新入生ガイダンス後なるべく早期が望ましい。

年次研究計画書の提出：4月末まで（D1-3）毎年度提出

研究報告書の提出：2月末まで（D1-2）

博士論文中間発表会：10月下旬～12月上旬（D1-3）「哲学特殊研究」で順次発表する。

博士論文計画書の提出：指導教員，専攻主任と相談する。専攻会議での承認が必要。

博士論文の提出：（随時）提出要領は『履修要綱』参照

博士論文審査・口述試験：（随時）

【博士論文審査基準】

ディプロマ・ポリシーに掲げた能力等を把握するために，提出された論文を次の水準及び審査項目について審査する。

- 1) 問題設定：哲学の体系的・歴史的研究のいずれかの点で，妥当な問題を設定していること。
- 2) 研究方法：文献研究の場合，原典の参照や二次文献の検討が適切になされていること。
- 3) 論文構成：論文全体の構成，論旨の展開が明確で，説得力がある文章で書かれていること。
- 4) 研究の位置づけ：研究史に鑑み，自分の研究がどういった位置にあるか明確であること。
- 5) 独創性：従来の研究にない独自の貢献を付け加える意義を持っていること。
- 6) 論文の形式：論文としての十分な紙幅，註や参考文献の適切な指示がなされていること。
- 7) 研究の倫理：資料の改竄，剽窃，盗作などが一切ないこと。
- 8) 指導：指導教員との十分な個人指導を経た成果であること。
- 9) 学会発表：論文を書くにあたって，それを構成する部分が，複数の専門学会での口頭発表，投稿論文などによる研究成果をふまえていること。

2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
古代哲学文献研究ⅠA			2
古代哲学文献研究Ⅱ			2
中世哲学文献研究ⅠA			2
中世哲学文献研究ⅠB			2
中世哲学文献研究ⅡA			2
近代哲学文献研究ⅠA			2
近代哲学文献研究ⅠB			2
近代哲学文献研究ⅡA			2
近代哲学文献研究Ⅲ			2
近代哲学文献研究ⅣB			2

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
現代哲学研究ⅠA			2
現代哲学研究ⅠB			2
現代倫理学研究ⅡA			2
現代倫理学研究ⅡB			2
美学芸術学研究Ⅰ			2
美学芸術学研究Ⅱ			2
日本思想研究			2
東洋思想研究			2
哲学特殊研究A ※注1	2		
哲学特殊研究B ※注1	2		

※注1：2015年度よりA（春学期2単位）B（秋学期2単位）に分割された。

3. 履修上の注意

- 1) 後期課程において必要な履修単位数は20単位とする。
- 2) 「研究指導（必修）」を、在学中每学期受けること。
- 3) 後期課程の学生は入学当初に、研究テーマと希望する指導教員名を専攻主任に申告しなければならない。委員会はそれを考慮して指導教員を指定する。
- 4) 後期課程の学生は每学期指導教員の授業に出席し、その指示に従って研究し、研究状況を指導教員に報告し、その成果を毎年発表しなくてはならない。
- 5) 後期課程に入学した学生で、前期課程必修科目の「哲学総合演習」の未履修者は、指導教員と専攻主任の許可を受けた上で、この科目4単位を後期課程の選択科目として履修し、必要単位数に充当することができる。
- 6) 後期課程において学生は研究の必要上、協定他大学および本学の他の研究科の授業を履修することはできるが、それによって必要単位数に充当することはできない。
- 7) 15年次生の学生は「哲学特殊研究A」2単位「哲学特殊研究B」2単位の合計4単位必修。それ以外に2年次以降、継続して履修を希望する場合は、この両科目とも選択科目として扱う。

4. 開講科目一覧表

文学研究科哲学専攻 (p. 45) の開講科目一覧を参照すること。

なお、文学研究科哲学専攻の設置に伴い、科目名が変更となっているものの対応については、以下の表による。対応する科目は同一科目とみなす。

2015年度以前の開講科目	2016年度以降の開講科目
古代哲学文献研究ⅠA	哲学特殊研究・古代Ⅰ
古代哲学文献研究Ⅱ	哲学特殊研究・古代Ⅱ
中世哲学文献研究ⅠA	哲学特殊研究・中世Ⅰ
中世哲学文献研究ⅠB	哲学特殊研究・中世Ⅱ
中世哲学文献研究ⅡA	哲学特殊研究・中世Ⅲ
近代哲学文献研究ⅠA (旧) 近世哲学文献研究ⅠA	哲学特殊研究・近代Ⅰ
近代哲学文献研究ⅠB (旧) 近世哲学文献研究ⅠB	哲学特殊研究・近代Ⅱ
近代哲学文献研究ⅡA	哲学特殊研究・近代Ⅲ
近代哲学文献研究Ⅲ (旧) 近世哲学文献研究ⅢA	哲学特殊研究・近代Ⅳ
近代哲学文献研究ⅣB	哲学特殊研究・近代Ⅴ
現代哲学研究ⅠA (旧) 現代哲学文献研究ⅡA	哲学特殊研究・現代Ⅰ
現代哲学研究ⅠB (旧) 現代哲学文献研究ⅡB)	哲学特殊研究・現代Ⅱ
現代倫理学研究ⅡA (旧) 倫理学特殊問題Ⅲ	哲学特殊研究・現代倫理学Ⅰ
現代倫理学研究ⅡB (旧) 倫理学特殊問題Ⅳ	哲学特殊研究・現代倫理学Ⅱ
美学芸術学研究Ⅰ (旧) 美学芸術学Ⅰ	哲学特殊研究・美学芸術学Ⅰ
美学芸術学研究Ⅱ (旧) 美学芸術学Ⅱ	哲学特殊研究・美学芸術学Ⅱ
日本思想研究 (旧) 日本思想文献研究	哲学特殊研究・日本思想
東洋思想研究 (旧) 東洋思想文献研究	哲学特殊研究・東洋思想

5. 研究指導一覧表

文学研究科哲学専攻 (p. 45) の研究指導一覧を参照すること。